

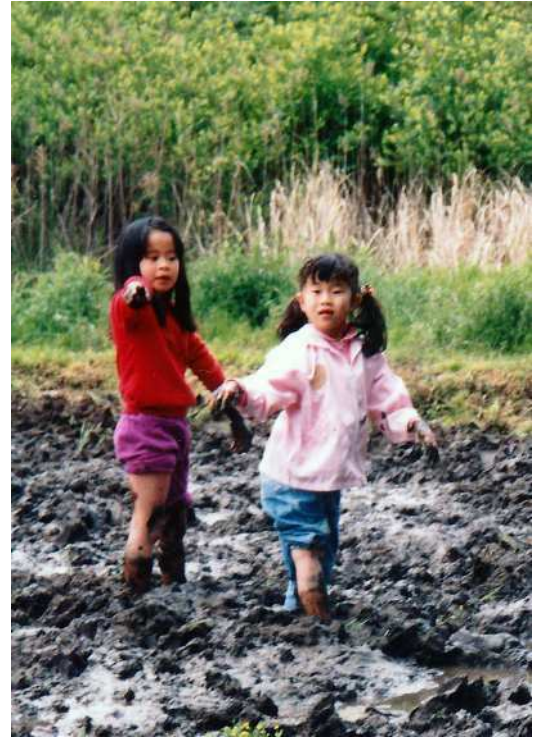
谷津田っ子魂！

千葉市緑区 江澤千春

お久しぶりの方、お久しぶりです。そして、はじめましての方も多くいらっしゃると思います。江澤千春と申します。谷津田だよりに文章を書くのは実に10年ぶりくらいになるでしょうか。今回は『あの頃の谷津田っ子は、今』というテーマで、小学生のとき谷津田に、そしてYPPに関わる皆さんに育てられたわたしが、現在どんなことをしているかを書こうと思います。ただの近況報告のようなものではありませんが、谷津田っ子の成長(?)報告として楽しんでいただければ幸いです。

わたしの今の毎日を簡潔に言うと、「ボート漕ぎ」です。現在東京大学の3年生、体育会のボート部に所属し、年間の大半を荒川のほとりにある合宿所で過ごし毎日毎日ボートを漕いでいます。体育会系の部活ですから当然練習は厳しいですが、穏やかで美しい水面で漕いでいるととても気持ちがいいです。ボート部に入るという選択には谷津田での経験は直接影響はしていないと思います。ただ谷津田で鍛え上げられただけあって、川の水や泥底に足を突っ込むことには初めから全く抵抗はありませんでした(笑)そうそう、それと、この間部で餅つき大会をしたのですが、餅つきのフォームを褒められたんです。「見たか、谷津田っ子魂!!!」というような気分。鼻高々です。

学業の方はというと、(熱心に取り組んでいるとはとてもじゃないけど言えませんが、)農学部の応用生物学専修という、農学部の中でも特に農業に根差したところで勉強しています。東大では入学するときには学部は決まっておらず、2年生の半ばで選ぶという制度なのですが、この学部・学科選択で、わたしは非常に悩みました。選ぶにあたっての方針は、「仕事に生きるのかそんなことは考えずに自分が好きな・興味が持てるところに行く」ということ。候補として自分の中に上がったのは3つです。スポーツが好きだから身体科学系を勉強してみたい。古生物が好きだから古生物学をやってみたい。そして小さい頃谷津田で過ごして楽しかった思い出がいっぱいだから農業系のことをやりたい。各学科のパン



14年前の4月、下大和田 YPP の田起こしに参加した私(右側)



フレットとにらめっこしながらさんざん悩みぬいて、それでもやっぱりここが一番楽しそうだ!ということで今の学部を選びました。決め手となったのは3年生から毎週行われる農場実習でしょうか。去年の秋から農学部としての授業が始まり、昆虫のことを学んだり、農薬のことをかじったり、はたまた1時間丸々ミカンについての講義を受けたりと、非常に「農学部」っぽい勉強をしています。農場実習では、さまざまな作物の栽培過

ボートを漕ぐ私(右側)

程を実地で学ぶのですが、谷津田で体験していたこと、たとえば代掻き(わたしたちちびっ子にとってはもはや泥合戦大会でしたが)などを、その意義について勉強しながら実際にやってみるということをします。また、谷津田でやっていたのはほとんどが手作業での農業でしたが、実習では手作業だけでなく農業機械を使った作業も行います。先日の実習ではトラクターの運転もしました。あの頃遊びながらやっていたことがそれぞれどんな意味を持っていたか、そして機械入るとどんな違いが(作業スピード、作業の質など)あるのかなど今になってわかることがたくさんあってとてもおもしろいです。谷津田での経験がある分、きっと学科のほかの友達よりも一層楽しんでいると思います。実習を含め、農学部に進んでから面白いと思う授業が一般教養のときよりずっと増えました。ここから先何を専門にするのかはこれからじっくり考えていきます。昆虫の授業が先学期一番面白かったから、昆虫をやるのもいいし、実習が進めばきっと作物についてももっともっと興味がわいてくる。ワクワクしますね。



農業実習の風景

さて、(元)谷津田っ子の近況報告はいかがだったでしょうか？YPPの活動からは長いこと離れてしまっていますが、下大和田や小山で遊んだことはたくさんたくさん覚えているし、確実に今のわたしに影響しています。せっかく農学部に進んだのだから、あの頃は知らなかった谷津田の顔を知ることができたらいいなあ。部活が忙しくてYPPの活動には顔を出せそうにありませんが、きっと現役の谷津田っ子たちが元気に谷津田を駆け回っていることでしょう。わたしも谷津田っ子精神を忘れずに、毎日頑張りたいと思います！

大椎っ子田んぼ第九期生から

昨年、学校田んぼで作業した大椎小学校第9期生の3人から寄稿がありました。

うれしいメッセージをご紹介します。

★私たちは学校田んぼだけでなく、YPPの方々の田んぼの活動にも参加して、古代米の田植えや脱穀、もみすりなどをしました。学校田んぼの田植えは少ししかできなかつたけど、YPPの田んぼではたくさん田植えができました。1本1本苗をきれいに植えないといけないので集中して作業しました。

脱穀では稲からもみをとりはずす作業をしました。たくさんあったので、大変でした。学校田んぼのときは見学しかできなかったのですが、もみすりをやってみたらもっと大変でした。もみすりは機械がやるのですが、1回ではきれいにもみがむけず、2回やったりしました。機械の中に少しずつしかもみを入れてはいけないのもみをいれる入り口におはしをおいて、調節する仕事が大変でした。

お米ができてあがるまでにはいろいろな作業があることがわかりました。そして、お米という命の大切さも知りました。お米は1つぶ1つぶ生きていてその命を食べていることがわかったので、感謝しながら大切に食べたいなあと思いました。



(大椎小、黒上雪乃、黒上雪舞、蔭山歩花)



里山たんけんレポート

第196回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2016年5月1日（日）晴れ

集合場所の林内ではホウチャクソウ、ウラシマソウ、マムシグサなどの花の中にキンランが点在し咲いていました。山の上の台地のハルジオンの花には様々な虫が花粉や蜜を求めてきています。アブハエの仲間、ハナバチの仲間、コガネムシの仲間、チョウの仲間、虫を捕らえようとするクモの仲間などたくさんの生きものが見られました。フジづるで木のぼりをしたり、しばし遊んで谷津へ出ました。水路の上をニホンカワトンボがひらひら飛び、ヤマサナエが羽化して抜け殻の上にとまって翅をのばしているところにも出会いました。谷津向かいの手入れをしている山へも入って復活してきた下草を観察しました。田んぼは水が入り、浮き出た卵のうを畔の縁に埋めてやったりしました。、シュレーゲルアオガエルの合唱を耳に新緑が美しい谷津の散策を満喫しました。

（参加者 大人 17名、大学・高校生 15名、小学生 4名、幼児 2名；報告：網代春男）

第190回 下大和田 YPP「田起こし」

2016年5月7日（土）晴れ

今日は田植えの準備の日です。土の堅いコシヒカリの田んぼは鍬やまんのうで土を起こし、草を取り、平らにならしました。こどもたちも泥深い田んぼに足を取られながら一生懸命頑張りました。4月2日にみんなで播いた種は田植えができるほどに生長していました。外気に触れ、丈夫になるようトンネルのおおいを外しました。作業が終わった後ミニ谷津田運動会でゲームを楽しみました。

（参加 大人 26名、小中学生 16名、幼児 8名、
報告 網代春男 写真：田中正彦）



第191回 下大和田 YPP「田植え」

2016年5月14日（土）晴れ

いよいよ田植えです。コシヒカリ、農林1号、緑米、赤米、黒米の5種類の苗を植えました。こども達も大人に混じって頑張って植えてくれました。今年はとても上手に田植えができて植え終わった田んぼは苗がきれいの並んで素晴らしくきれいでした。これからぐんぐん育ってくれることでしょう。田んぼの中はメダカ、ニホンアカガエルの子ガエル、シュレーゲルアオガエルのおたまじゃくし、タニシなどで賑わっていました。

（参加 大人 35名、小学生 21名、幼児 6名、
報告 網代春男 写真：田中正彦）



第129回 小山町 YPP「コシヒカリの田植え」

2016年5月21日（土）晴れ

コシヒカリの田植えをしました。何とか今月中に植え終えたいのですが、この季節、雑草の勢いがすごいのでこれから植える田んぼは草だらけです。やっかいなヘラオモダカも出始めています。そこで、草取りのグループと田植えのグループに分かれて作業をしました。すぐ近くでウグイスが熟達したさえずりを終始聞かせてくれるのが応援歌です。まだまだ時間がかかりそうですが、着実に作業が進んでいます。

（参加 大人 8名、報告 高山邦明）



小山町

- 5月 7日 アシ原でオオヨシキリが元気にさえずる。ヒキガエルの小さな子ガエルが畦ぎわに集まっていた(高山)。
5月 14日 今年生まれのたくさんのアカガエルがヒョンピョン畦ではねている。エゴノキの花が咲く(高山)。
5月 21日 ドクダミが咲く。田んぼの上空をツバメが飛び(高山)。
5月 28日 ホトトギスの声を初めて聞く。林でキビタキがさえずっていた(高山)。

下大和田

- 5月13日 午前中ずーとキビタキが囀っていた(網代)。
5月28日 ホトトギス鳴く、今シーズン初(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

- ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 第 192 回「田の草取り」(第 5 回米づくり講座)

この季節、5月に植えた稲と競うように雑草もグングン生長します。田んぼの草取りをして稲の生育を助けてあげます。

日 時: 2016年6月11日(土) 9時45分~14時 *小雨決行

場 所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集 合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:25、8:40など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、野草を食べる会は加えて、お椀・お皿・おはし

参加費: ちば環境情報センター会員および家族 100円、一般 300円、小学生未満無料

主 催: ちば環境情報センター 共 催: ちば・谷津田フォーラム

▼第 198 回 下大和田 7 月の谷津田観察会とごみ拾い

ノシメトンボが飛び、カブトムシもそろそろ姿を現す頃です。山中ではいろいろなキノコも見られるでしょう。

緑濃く生き生きとした木々の谷津を巡ります。

日 時: 2016年7月3日(日) 9時45分~12時 ☆小雨決行

場 所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集 合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田 YPP に同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主 催: ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時: 2016年6月12日(日)、6月17日(金) いずれも9時45分~15時

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上) 持ち物: 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催: ちば環境情報センター

▼第 130 回 小山町 YPP「緑米の田植え」

今季最後の田植え、緑米を植えます。

日 時: 2016年6月11日(土) 10:00~12:30、小雨決行

場 所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主 催: ちば環境情報センター

編集後記 5月も終わりに近づくとウグイスのさえずりがとても上手になり、ホ〜ホケキョに続いて、ケキョケキョケキョを繰り返す“谷渡り”という鳴き方で延々と続けて歌い続けます。その上空からは Teppenkaketaカ というホトトギスの声が出てきますが、このホトトギスはウグイスの巣に自分の卵をコソコソ産んで育ててもらった卵をする鳥です。あまりに得意になって歌うと巣のありそうな場所をホトトギスに教えることになるのではないかと心配です。
(高山 邦明)